



# みんな なっかで ぬくといまち

本格的な少子高齢化社会の到来により、高齢者の医療・福祉に対する需要は、今後ますます増大することが予想され、少子・高齢化対策として、子育て支援や介護予防、高齢者や障がい者の自立支援などの取り組みが行われています。

また、生活習慣や食生活の変化などにより、がんや心疾患、脳血管障害などの疾病が死因の大きな割合を占めており、日常の健康づくりや、生活習慣病などの予防活動が重要となってきました。

そのような中、公的サービスの利用とあわせて、地域の協働による高齢者などの支援や子育て、町民の健康づくりへの取り組みが求められ、町民一人一人がお互いに助け合うことで「みんななっかでぬくとい」まちづくりを進めます。

Now that our low birthrate and aging society has definitely arrived, demands for welfare and medical care for the elderly are expected to increase rapidly. To meet these needs, we have established measures to deal with low-birthrates and an aging population that include child-care assistance, preventive nursing, and self-organized support for the elderly and disabled.

Sickness such as cancer, cerebral vascular, and cardiac disorders are now causing a larger number of deaths due to changes in living and dietary habits. Adopting a healthy daily lifestyle and taking measures to prevent illness due to living habits is vitally important.

To deal with these circumstances, we need to take measures to ensure the health of the townspeople and provide help for the elderly and raising children through local cooperation. If each and every one of the townspeople will help each other, we can make real progress in building "a caring town for everyone."

## 施策の方向

- 子どもを安心して生み育てることのできるまちをつくる
  - ① 子育て支援の充実
  - ② 児童福祉の推進
- 誰もが健やかに暮らせるまちをつくる
  - ① 心と体の健康づくりの推進
  - ② 地域医療体制の充実
- 生きがいをもって安心して生活できるまちをつくる
  - ① 地域福祉社会の形成
  - ② 高齢者福祉の推進
  - ③ 障がい者福祉の推進



三倉小・みやま荘訪問

## ● 森町保健福祉センター

保健・福祉・児童の各分野が有機的に結びつき、子どもから高齢者まで安心して暮らすことができるまちづくりの拠点として、平成12年8月に完成しました。保健福祉施設のほか「児童館」や「望月プラザ(入浴施設)」があります。



● 公立森町病院 平成9年3月に移転新築をした公立森町病院は、地域医療の中心的な役割を果たすため、診療の充実に努めています。また、心のかよった医療を提供することで、地域から愛され信頼される病院を目指しています。



集団検診



森町病院エントランスホール

リハビリ教室



児童館・餅つき



親子料理教室

